

(様式第4号)

## 調 査 研 究 完 了 報 告 書

調 査 研 究 課 題	医薬品類の安全性に関する調査研究（健康食品）
研 究 期 間	平成24年度～25年度 2年間
目 的	本調査では、健康食品に含まれる医薬品成分について一連の分析法を検討する。
得られた 成 果	<ul style="list-style-type: none"><li>・強壮系と謳う健康食品に違法に含有される医薬品成分（シルデナフィル等）について、高速液体クロマトグラフィー質量分析装置の測定条件の検討を行った。シルデナフィル、バルデナフィル、ホンデナフィル、タダラフィル、ヒドロキシホモシルデナフィル、アミノタダラフィル、クロロプレタダラフィルの7項目について、同時分析が可能となった。</li><li>・痩身系、強壮系を謳う健康食品の実態調査を24年度は50製品、25年度は54製品について行った。いずれの健康食品からも違法となる医薬品成分は検出されなかった。</li></ul> 検討した測定法で、強壮系を謳う健康食品について再測定したところ、従来使用している測定法で得られる結果と変わらない結果を得られた（標準品添加試料も同時確認）。
成 果 の 普 及 ・ 活 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"><li>・多成分を同時に分析できるように試験法を改良したことにより、強壮系と謳う健康食品に違法に含有される医薬品成分についての健康被害発生時や違反発見時における迅速な対応が可能となった。本法は健康被害発生時のみならず、平時の行政検査としても有効なものである。</li><li>・当所年報への掲載により普及を図る。</li></ul>
残 された 課 題 ・ 問 題 点	現在、インターネット等様々な方法で、世界中の健康食品が簡単に入手できる状況であり、健康食品による健康被害の発生が増加する傾向にあることから、今後も分析対象成分の拡充、試験法の改良が必要である。

※ 研究成果等の資料があれば添付すること。

(様式第 12 号)

## 完了評価結果報告書

平成 26 年 7 月 17 日

調査研究課題	医薬品類の安全性に関する調査研究（健康食品）
--------	------------------------

評価項目	評価	意見	備考
①調査研究の妥当性	4, 4, 3, 4, 4, 4 平均評価点：3.8		
②目標の達成度	4, 5, 3, 4, 4, 4 平均評価点：4		
③成果の意義，達成度	3, 4, 4, 4, 4, 4 平均評価点：3.8	外部委員 ・関連する学術雑誌に資料として，掲載されるようご努力下さい。	
④総合評価	4, 4, 3, 4, 4, 4 平均評価点：3.8	外部委員 ・県民を健康被害から守るという点で意義がある。継続してもよいテーマかと思う。 ・関連する検査業務の簡略化，作業時間の短縮等に役立つと考えられる。 内部委員 ・技術の向上と研鑽を期待する。	

評価点 1：不良 2：やや不良 3：普通 4：やや良好 5：良好

追跡評価実施の要否	要：1人 否：5人	・研究成果を外部の雑誌もしくは，研究会などで発表されたかについて，追跡する必要あり。	
-----------	--------------	--	--